「ご縁電車しまねっこ号」に乗り込む人たち＝松江市中原町、松江しんじ湖温泉駅

しまねっこ電車 「ご縁の国」PR

一畑電車

一畑電車（出雲市平田町）が21日、島根県の観光キャラクター・しまねっこをデザインした「ご縁電車しまねっこ号」の運行を始めた。県が進める「ご縁の国しまね」観光PRキャンペーンの一環。車両は一畑電車の全線で使用し、観光振興につなげる。

県が約600万円の事業費を掛けて企画。全長36メートル、高さ4・1メートルの1編成2両に、しまねっこのほか、銅剣やしめ縄など、島根にちなんだ図柄のラッピングフィルムを貼り付けた。

内装にも趣向を凝らし〝始終ご縁〟があるようにと「1日10回ありがとうと言う」など前向きなメッセージ「四十五箇条」が書かれたつり革などを設置。

しまねっこのオブジェを座席シートに設置したり、八つの「隠れしまねっこ」を窓のブラインドなどにあしらったりと、見ても乗っても楽しめる仕掛け作りにこだわった。

この日、松江市中原町の松江しんじ湖温泉駅で開かれた出発式で、溝口善兵衛知事や一畑電車の昌子修社長らがテープカット。乗車を待ちわびた客が改札口に列を作り、一斉にホームに詰め掛けた。

しまねっこ号は、本年度は毎日運行する。運行時刻は同社のホームページなどで確認できる。